

決算特別委員会

- 委員長 吉福 弘実
- 副委員長 綾香 良浩
- 委員 近藤 芳人 竹山 俊郎 辻 賢治
- 針尾 直美 松口 茂生 松本 正治
- 吉住 龍三



委員長報告全文はこちらをご覧ください。

決算特別委員会レポート

学校職員の処遇・なり手不足対策やグリーンヒルズの販売促進について議論

学校職員の処遇・なり手不足対策について

Q 学校に勤務する会計年度任用職員を募集しても、収入面がネックとなり人が集まらない状況ではないのか。教職員の負担軽減・人材確保の観点から改善が必要ではないか。

A 会計年度任用職員の報酬額は教育委員会のみでは決定できない。会計年度任用職員に応募しやすいような賃金体系については、人事部局とも協議していきたい。

Q 教職員に対する健康診断やストレスチェックを行っているとのことだが、メンタル不調等を抱える教職員のケアを行う仕組みや、相談を受けられる体制は構築されているのか。また、中学校での部活動行事による教職員の負担の実態はどうか。

A ストレスチェックの結果に応じて個別に相談ができるほか、働き方改革を進めている。また、校内でのメンタルヘルス研修の実施や、ハラスメント委員会の設置など、教職員に目配りができる制度を設けている。中学校での部活動行事については、ノー部活動デーの設定や、部活動の複数担当制を導入しているが充分とは言えない。更なる働き方改革を進

め、部活動行事に限らず、メンタル不調で心身の故障をきたす教職員が出ないようにしていきたい。

令和3年度平戸市国民健康保険特別会計決算認定について

Q 保険給付費等交付金の「県特別調整交付金」については、国民健康保険税の収納率に伴う交付金と考えるが、令和3年度の状況はどうか。

A 県特別調整交付金は、保険事業や収納取組姿勢に対する評価に関する交付金であり、令和3年度は交付額約2700万円のうち、1167万円が収納評価に関する交付金である。これは県内市町のうち、上位5市町に特別に交付されるものであり、本市は上位4位と評価されている。

意見 高い収納率を確保しているものであり一定評価すべきものである。徴収率のさらなる向上に向け、引き続き努力を望む。

令和3年度平戸市介護保険特別会計決算認定について

Q 介護認定者数について、総合事業対象者が年々減少している要因は

令和3年度あづち大島いさりびの里事業特別会計決算認定について

Q 当該施設の漏水対応が遅れ、約78万円の市負担が出たが、その後どのような対応策を講じたか。

A 対応マニュアルを作成し、指定管理者とともに漏水点検方法を確認した。また、前年度と比較しながら確認するよう双方でのチェック体制を整えた。

Q 今後の施設改修はどのように考えているか。

A 宿泊施設ということもあり、基本的に補助等が見込めない状況だが、観光協会などから助言をいただきながら補助メニュー等を検討し、大規模改修を行っていきたい。

令和3年度平戸市水道事業会計決算認定について

Q 令和3年度の管路更新率が0.5%と低い状況の中、今後の更新事業については、どのように進めていく予定か。

A 本市は起伏の厳しい地形と小規模集落が広範囲にわたり点在すること、管路総延長が長いことや、経

なにか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、交流や社会参加の機会が減少したこと、介護状態に陥つてからの申請が増え、総合事業を経ずに要支援以上の認定を受けるケースが増えたことや、介護度の重症化により総合事業から要介護認定に移行するなどのケースにより、総合事業対象者数は減少していると考えられる。

Q コロナ禍により要介護認定者が多くなっている状況にある。今後、裾野の広い介護予防に努めてほしい。

A 介護予防のための地域支援事業や高齢者の健康維持を目的としたフレイル予防事業の推進、医療と介護の連携・情報共有を図り、介護予防施策に取り組んでいきたい。

令和3年度平戸市農業集落排水事業特別会計決算認定について

Q 本事業は、令和12年度をめどに事業を廃止することだが、事業廃止経費としての既存施設・管路の撤去費などが見込まれていない状況である。将来的な財政負担を把握すべきであり、管路を埋めたままにするなどの方策も含め、できる限り撤去費用がかからないように努力してほしい。

令和3年度平戸市病院事業会計決算認定について

年劣化が進んでいる管路・漏水が発生している箇所を優先的に更新しているため管路更新率は低い状況にある。漏水箇所が多い箇所を充分精査し、計画的に事業を推進していきたい。

Q 令和3年度の経営状況については新型コロナウイルス感染症対策関連補助金の交付により、平戸市民病院・生月病院ともに純利益となっていると思われる。コロナ収束後は関連補助金の減少が見込まれることから、厳しい経営状況になるものとの危惧されるが、今後の病院事業経営についてはどのように考えているのか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響による入院収益の減少により、医療収益は前年度と比べ減少しているが、コロナ関連補助金交付により医療外収益が増加しており、令和3年度は純利益となった。コロナ収束後は医療外収益の減少に加え、少子高齢化・人口減少も進展し、従前の状況に戻るのには難しいと想定される。今後の動向を見極めていきたい。

Q グリーンヒルズ(田平町)の売れ残っている宅地駐車場は、車高が高い車両が入らない「ほら穴式」が大半とのことだが、造成していない区画に駐車場を設けるなどの方法も考える必要があるのではないか。

A 販売促進の点から、何らかの改修の必要があると認識しているが、販売予定の区画に駐車場を整備するとなれば、多くの区画で大規模な工事が必要となる。すでにグリーンヒルズに入居し、敷地内に駐車場用地を確保している世帯との兼ね合いや工事費用の回収をどのようにするかといった整理も必要。より良い方法を検討したい。

